

日本共産党杉並区議会議員

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2022. 4. 28 NO. 342

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



## 西荻南区民集会所

### 玉突き移転で区民の利便性は大幅後退

21日の区議会臨時会で、西荻南区民集会所を4月末で閉鎖し、旧西荻北児童館施設に移転させる議案が、賛成多数で可決されました。日本共産党杉並区議団は反対しました。

#### 利用者の声も聞かず閉鎖を決定

今回の移転について、区は、西荻区民事務所が入居していた民間ビルの耐震性に問題があることがわかり、区民事務所を区民集会所に移転させることとしたため、と説明しています。

議案は、区民生活委員会で審議されました。

日本共産党の酒井まさえ委員は「突然の閉鎖の知らせに驚いている。説明会も開かず、利用者の

声を聞かないのは納得いかない」など、区民から寄せられた声を紹介。説明会の開催を求めましたが、区はコロナ禍を理由に開催を拒否しました。

#### 用地確保のめどもなく進めるのは拙速

酒井委員は「西荻南区民集会所は、利便性もよく、西荻南側地域の唯一の区立集会施設として多くの区民に利用されてきた。旧西荻北児童館へ移転となれば非常に不便になる。たとえば区民事務所を旧西荻北児童館に暫定的に移転させ、その後、本格的に移転先を探すことも考えられるのではないか」と質しました。区は、旧西荻北児童館は、今後、西荻北保育園改築時の仮園舎になる予定で安定的に利用できないと答弁。

一方で「今後、西荻南地域に適地を確保し、集会施設の整備を図る」としているものの、用地確保について、現時点ではめどが立っていないことを認めました。

酒井委員は「用地確保のめども立っていないもので、閉鎖・移転はあまり拙速。説明会も行わない非民主的な進め方も問題。区民事務所の駅前からの撤退と、それにもなう区民集会所の玉突き移転は、区民の利便性の大幅後退につながる」と意見を述べ反対しました。

#### 本会議での議案に対する各会派の賛否

| 自杉 | 公明 | 自民 | 共産 | 連携 | 立無 | 平和 | 無維 | 革新 | 正理 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ○  | ○  | ○  | ×  | △  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  |

※「自杉」は自由民主党杉並区議団（9名）、  
「自民」は杉並区議会自由民主党（6名）の略称。  
※「連携」のうち松尾、堀部議員は反対。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

# 学校給食費 値上げ!

# 他区では公費負担なのに 杉並区は保護者へ負担増を転嫁

## 各地で値上げ相次ぐ 品数削減も

物価高騰のあおりをうけて、各地で学校給食費の値上げや品数削減が行われていることが報道されています。

杉並区はどうか? 日本共産党杉並区議団が教育委員会に問い合わせたところ、杉並区でも、給食費を値上し、保護者に負担を求めたことが明らかになりました。

## 保護者へは前日に通知

値上げは新年度からで、値上げ額は下表の通りです。

前回は2019年に値上げしており3年ぶり。保護者へは3月31日に文書で通知したと言いますが、翌日からの値上げは、あまりにも突然すぎます。

## 「義務教育は無償」 給食費も無料であるべき

学校給食法では、調理場などの給食関係施設や、設備に関する経費は学校の設置者（公立学校は自治体）の負担とする一方、食材にかかる費用は保護者負担



と規定していません。しかし、文科省は、設置者の判断で保護者の負担を軽減（負担なしも含む）

することは法的には問題ないとしています。給食は学校教育の一部であり

「義務教育は無償」と定めた憲法26条にそくし、本来無償であるべきです。

## 値上げ分は1800万円 公費負担は十分可能

昨今、子どもの貧困が社会問題になり、まともな食事は給食だけという子どももいるなかで、食材費の高騰を理由に、値上げを保護者に転嫁することは容認できません。

今回、23区では、新宿区と葛飾区も値上げをしましたが、すべて公費負担です。杉並区の今回の値上げ分は年間約1800万円程度。区の財政力からすれば公費負担は十分可能です。

4月からの給食費値上げ月額（単位:円）

| 学年    | 3月まで  | 4月から  | 値上げ額 |
|-------|-------|-------|------|
| 小/低学年 | 4,526 | 4,574 | +48  |
| 小/中学年 | 4,864 | 4,911 | +47  |
| 小/高学年 | 5,203 | 5,265 | +62  |
| 中学生   | 5,683 | 5,756 | +73  |

## 岸本さところさんとともに 「住民の声が届く」杉並へ

6月12日告示、19日異投票で行われる区長選挙で、日本共産党は「住民思いの杉並区長をつくる会」の岸本さところさんを支援することを決定しました。



変えよう。  
住民の声が届くすぎなみへ

1974年生まれ。日本大学理学部で環境社会学を専攻。2003年、国際政策シンクタンクNGO「トランスナショナル研究所」の研究員に。

## 岸本さところ

田中区政からの転換を求める区民が集まり、今年1月に「住民思いの杉並区長をつくる会」が発足。岸本さんが立候補を決意されました。

区民の声を聞かない田中区政から、住民が主人公の杉並へ。岸本さんとともに変えましょう。



23日、西荻窪駅前再開発反対のパレードが行われました。西荻では補助132号線の道路拡張計画とあわせて南口再開発の計画が浮上。多くの人びとに親しまれている南口の飲み屋街を潰してはならないと区内から大勢が参加しました。